

# 『福一教室』の紹介

○「福一教室」は、どんなところ？

— 自分の苦手なことに向き合って、それを克服するための様々な手段を学ぶところ。

苦手なこととは、例えば、

- 友達と仲良く話したいのに、話すのが苦手
- 一つのことにとこだわってしまい、切り替えるのが苦手
- 文字など形のあるものは読めるが、人の気持ちや場の空気など曖昧なものを読むのが苦手といったことです。

○通っているのは、どんな人？

— 学校生活の中で、苦手、分からない、うまくいかないことがあると感じ「自分の力でなんとかしたい」と課題をもって頑張ろうとする人。

自分の苦手なことに向き合うというのは、非常に勇気のいることです。人間は皆、苦手なこと、不得意なことがあります。往々にしてそこから目をそらしたり、隠したり、逃げたりしがちです。福一教室に通って来る生徒は、そこから目をそらさず、逃げ出さず、なんとか克服しようと努力している人たちです。

○どんなことをどんなふうに勉強をしている？

— それぞれ自分の課題を整理して、「自立活動」という授業を行っています。

先生と一対一で、あるいは少人数で勉強しています。

例えば、話すのが苦手な人は、人前で話す練習や面接練習を、何かにこだわってしまう人は、落ち着いて考える練習や集中して取り組む活動などを行っています。また、特定の学習に不安や課題のある人は、学習計画の立て方や勉強の仕方についても考えています。

## 生活時程と学習内容

○可能な限り個別の教育的ニーズに応じて作成します。

[Aパターン]

※例…自立活動（3時間）の指導を、それぞれ異なる曜日に受ける場合

	月	火	水	木	金
1校時					
2校時	自立活動 個別指導				
3校時					
4校時		自立活動 個別指導			
5校時				自立活動 小集団指導	
6校時					

[Bパターン]（午前2時間の例）

	学 習 内 容
2校時	自立活動 小集団指導 ・ソーシャルスキルの向上
3校時	自立活動 個別指導 ・課題解決

[Cパターン]（午後2時間の例）

	学 習 内 容
5校時	自立活動 個別指導 ・学習方法の確立
6校時	自立活動 小集団指導 ・作業活動、協力